

# キャンプファイヤー事前資料

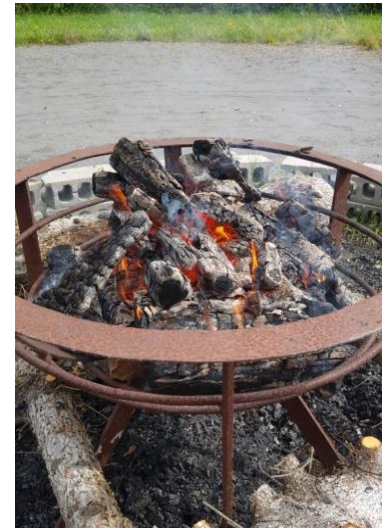
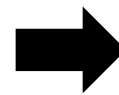
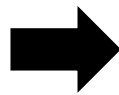
## 1. キャンプファイヤー教材

○5,500円（トーチ用灯油含む）



太い薪が 25 本、細い薪が 10 本程度、針金でまとめられた細い薪が 1 セット、新聞紙数枚が入った **黄色と水色の箱** が施設裏口に用意されています。  
トーチ用の灯油は事務室でお渡しします。  
※黒い箱の薪は炊飯用ですので間違えないようにしてください。

## 2. 準備～燃焼～消火まで



キャンプファイヤー台の上に短い薪を組みます。薪を組む作業と、実施翌日の処理作業は団体の引率者が行います。（6. 推奨方法を参照）

上部の細い薪から着火し、火を下に落としていくことにより燃焼時間を長く確保することができます。  
火が燃え上がっているのは 40 分程度で、その後はおき火となります。

キャンプファイヤーを終えたらバケツやホースを使用して入念に消火作業を行ってください。

## 2. 事前準備

- ① 研修計画書にて実施希望の旨を当施設へ連絡。
- ② 日程調整完了後、実施日と時間帯が決定次第、当施設ホームページよりキャンプファイヤーの「実施場所」と「届出書」をダウンロードし、必要項目を記入して深川市消防署へ提出。

③（※1）準備物品の調達。

④（※2）貸出提供物品の希望連絡。

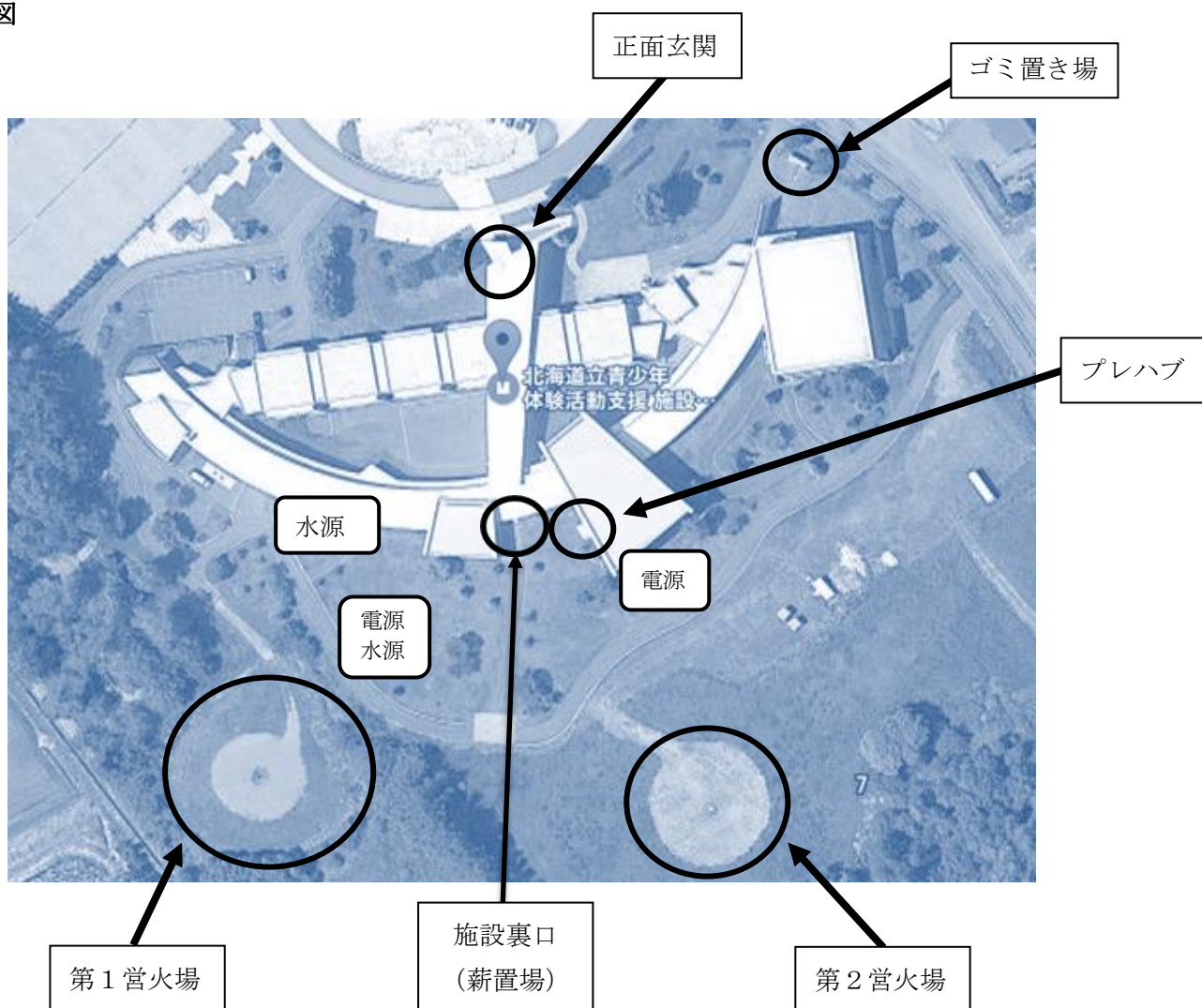
※1…準備いただく物品はトーチ、チャッカマンです。

※2…当施設が貸出提供可能な物品はラジカセ、ドラムコード、バケツ、火ばさみ、灰処理用スコップです。  
トーチ用灯油、ラジカセは事務室から、ドラムコード、バケツ、火ばさみ、灰処理用スコップはプレハブから持って行ってください。

#### 4.当日の流れ

- ①実施当日の **14時まで**に実施するか否かの判断をし、中止の場合には事務室へ連絡。
- ②当施設到着後、引率者は **17時まで**に職員より会場や注意事項等の説明を受ける。
- ③空き時間で会場準備を行う。電源は野外炊飯場にあります。ドラムコードをお使いください。
- ④実施。(終わった後は風で再燃焼したりしないよう、火種を残さず確実に消化してください)
- ⑤翌日の朝に灰をゴミ袋に入れ、ゴミ置き場に燃えるゴミとして捨てる。
- ⑥使用した物品を元あった場所に片付ける
- ⑦職員立ち合いの元点検を受ける

#### 5.会場図



## 6.推奨方法

キャンプファイヤーを行う際には、引率者様ご自身がキャンプファイヤー台の上に薪を組む必要があります。組み方に決まりはありませんが、薪を組んだ経験の少ない方は当施設で推奨する組み方を参考にしてください。



### 【営火用サークルの確認】

キャンプファイヤー台が用意されていることを確認してください。キャンプファイヤー台の周りには丸太は飾りですので、火を燃え移すことはありません。



### 【1段目】

なるべく太く高さが同じになる薪を2本並べます。また、2段目以降も高さが同じになる薪を選ぶことを意識します。



### 【2～4段目】

薪の向きがタテ、ヨコ交互になるよう3本ずつ薪を組んでいきます。5段目以降も薪の向きは交互に組みます。また、薪は隙間が出来るように並び、空気の通り道を作りましょう。なお、2～3段目はなるべく太い薪を選ぶのが好ましいです。



### 【5段目】

両脇に高さの揃った太い薪を置き、その間に細い薪を4本程度敷き詰めます。細い薪の高さは揃える必要はありません。この段では多くの薪を使用することで、着火した火をより大きく燃え上がらせることができます。



#### 【6 段目】

高さの揃った太い薪を 4 本並べます。着火用の細い薪の土台となります。



#### 【7 段目】

高さの揃った薪 2 本を両端に置きます。着火用の細い薪を安定させます。



#### 【着火部分】

針金でまとめられた細い薪を立て、隙間にまるめた新聞紙を数個置きます。新聞紙を置いたら、残っている細い薪をその周りに立てていき、薪を組む作業は終了です。



キャンプファイヤーを実施する 30 分程前に、着火用灯油をトーチの先にかけておきます。灯油は事務室でお渡しします。着火する際にはトーチの火を新聞紙に移します。下の段の薪に着火してしまうと燃烧時間が短くなってしまいますのでご注意ください。